

平成 18 年 12 月 4 日

応用物理学会北海道支部
会員各位

応用物理学会北海道支部

講演会のお知らせ

下記講演会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題：メディア画質とその感性効果

講師：小林 裕幸 氏（千葉大学工学部・教授）

日時：平成 18 年 12 月 15 日（金） 14:00～15:30

場所：北海道大学工学部 物理工学系大会議室（A 1 - 17）

後援：応用物理学会北海道支部

講演の要旨

私たちはいろいろなメディアを獲得してきた。それぞれのメディアはそれぞれ独自の画質をもっている。重要なのは、私たちはそれぞれのメディアのもつ特有の画質（メディア画質）からいろいろなことを感ずること（感性効果）である。例えば、テレビの「水戸黄門」は、以前は銀塩フィルムにより撮影されていたが、現在はビデオにより撮影されている。粒状のなくなった時代劇の画面に時代は感ぜられず、違和感を感ずる視聴者も多い。本講演は、画像が私たちに与える情報のうち、絵柄と直接関係しない色や、シャープネス、粒状性といった画質が引き起こす感性効果についてお話しするものである。まず、好みさが色や画質によってどう影響されるか、そしてそれはなぜなのかを、記憶色、ならびに記憶画質を紹介しながら説明する。次に、古さ、親しみやすさ、距離感といった感性効果について述べる。

世話人 馬場 直志

北海道大学大学院応用物理学専攻

電話：011-706-6718 nbaba@eng.hokudai.ac.jp